

応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 研究会
「有機分子・バイオエレクトロニクスの最新動向と応用展開」

日時: 2017年6月7日(水) および8日(木)

場所: かんぼの宿北九州(福岡県北九州市若松区有毛2829)

参加費: 5,000円 宿泊費: 9,000円 懇親会費: 4,500円

※会員の方は会誌 Vol.28, No.2 をご持参下さい。会員外の方はテキストを 1,000 円で購入いただきます。

なお、学生の方は参加費無料です。

問い合わせ先: 豊橋技術科学大学 高橋 一浩 (takahashi@ee.tut.ac.jp)

趣旨: 本研究会は、有機デバイスやバイオチップなど有機分子・バイオエレクトロニクス分野において第一線でご活躍されている方々に最新の研究内容をご紹介いただき、議論を通じて交流を深め、本研究分野のさらなる発展を目指します。

プログラム:

6月7日(水)

- | | | |
|---------------|-----------------|---------------------------------------|
| 13:00 - 13:30 | 村越 道夫 (鹿児島大) | 【招待講演】 |
| 13:30 - 13:45 | 宮本 浩一郎 (東北大) | 化学イメージセンサを用いたイオン拡散係数の測定 |
| 13:45 - 14:00 | 當麻 浩司 (東京医科歯科大) | 医療や環境医学での免疫モニタリングを目指した半連続測定式イムノセンサ |
| 14:00 - 14:15 | 筒井 真楠 (大阪大) | ナノポアセンサと機械学習法による1粒子解析 |
| 14:15 - 14:30 | 南 豪 (東京大) | 分子認識能を賦与した有機トランジスタ型化学センサによる非標識タンパク質検出 |
| 14:30 - 14:45 | 三宅 丈雄 (早稲田大) | 革新的バイオイオントロニクスデバイスの開発 |
| 14:45 - 15:15 | 【休憩】 | |
| 15:15 - 15:30 | 永瀬 隆 (大阪府立大) | 塗布プロセスによる自己組織化界面を用いた有機トランジスタの高性能化 |
| 15:30 - 15:45 | 伊澤 誠一郎 (分子研) | ドナー/アクセプター界面構造が有機薄膜太陽電池性能に与える影響 |
| 15:45 - 16:00 | 吉良 敦史 (日本航空電子) | オリゴヌクレオチド修飾ナノ粒子のハイブリダイゼーション活性について |
| 16:00 - 16:15 | 脇本 健夫 (Merck) | メルクでの有機EL |
| 16:15 - 16:30 | 笠井 均 (東北大) | 有機ナノ結晶研究から派生した次世代ナノ薬剤への展開 |
| 16:30 - 17:00 | 手老 龍吾 (豊橋技科大) | 【招待講演】 |

19:00 - 21:00 懇親会

21:30 - 22:30 有機分子・バイオエレクトロニクス研究討論会

6月8日(木)

9:00 - 9:15 森 竜雄 (愛知工業大)

有機ペロブスカイト太陽電池の活性層へのエアフロー効果

9:15 - 9:30 香取 重尊 (津山高専)

超音波噴霧法による薄膜作製とその課題

9:30 - 9:45 福田 憲二郎 (理研)

超薄型・大面積有機集積回路と太陽電池に関する取り組み

9:45 - 10:00 久保野 敦史 (静大)

水晶振動子を用いた界面構造形成過程の解析

10:00 - 10:30 【休憩】

10:15 - 10:30 葛原 大軌 (岩手大)

ポルフィン誘導体を用いた有機薄膜太陽電池

10:30 - 10:45 植村 隆文 (大阪大)

フレキシブル有機薄膜トランジスタを用いた微小信号計測シートの開発

10:45 - 11:00 坂口 幸一 (佐賀大)

ラジカル反応を利用した溶媒親和性炭素材料の合成